

【説明資料】

学生ボランティア募集について

宮城県蔵王自然の家

蔵王自然の家では、学生ボランティアを募集し、親子もしくは小中学生を対象に行う主催事業等のアシスタントとして、活躍していただいています。

☆活動内容

主催事業の参加者は、いくつかの班に分かれて活動します。アシスタントは、各班の担当者となり、参加者のサポートに当たります。他にも、野外炊飯や登山活動時の補助・安全確保、創作活動の準備等を行います。また、キャンプファイヤー・キャンドルファイヤーでのレクリエーション（ゲーム）を企画・運営したり、「アシスタントと遊ぼう」コーナーを任せられたりもします。

☆学生ボランティアになるためには？

自分で自然の家へ問い合わせ、その都度申し込む方法もありますが、「蔵王自然の家ボランティアの会（略称：ZAVO）」に入会することをお勧めします。会員になると、自然の家からメールでアシスタント募集の情報が入り、申込みもメールでできます。さらに、年度末には、所長名を記載した「ボランティア活動証明書」が発行されるので、就職活動等にも活用できます。

☆蔵王自然の家ボランティアの会（略称：ZAVO）とは？

平成31年3月に発足したばかりの新しい組織です。組織ができる前は、大学の部やサークルにアシスタントの派遣を依頼していました。現在は、仙台大学・東北福祉大学・宮城学院女子大学・尚絅学院大学などの学生26名が所属しています。（令和2年2月末現在）その中から、会長1名・副会長1名、庶務2名が選出されています。

☆蔵王自然の家までのアクセス

自家用車利用の方は、遠刈田温泉・えぼしスキー場方面においでください。無料駐車場を完備しています。主催事業があるときには、アシスタント送迎のために、JR大河原駅から自然の家のバスが出ます。場合によっては、ミヤコーバス遠刈田温泉バス停（仙台から高速バス・白石から路線バス）からの送迎も可能です。

☆令和元年度活動実績

<小中学生への支援>

- ・ 8月4日（日）～10日（土）「チャレンジin蔵王」

<小中学生の親子への支援>

- ・ 5月18日（土）～19日（日）「満喫！蔵王の春」
- ・ 8月24日（土）～25日（日）「満喫！蔵王の夏」
- ・ 9月21日（土）～22日（日）「赤十字親子防災スクール」
- ・ 10月12日（土）～13日（日）「満喫！蔵王の秋」
- ・ 2月1日（土）～2日（日）「満喫！蔵王の冬」

<未就学児の親子への支援>

- ・ 6月29日（土）～30日（日）「蔵王でみんなとお泊まり会」
- ・ 9月15日（日）「親子で遊ぼうin蔵王（夏）」
- ・ 1月25日（土）「親子で遊ぼうin蔵王（冬）」

<県民一般への支援>

- ・ 10月20日（日）「蔵王自然の家フェスティバル」

<主催事業の支援に対応するための事前研修>

- ・ 5月11日（土）～12日（日）「第1回野外教育施設ボランティア養成講座」
- ・ 7月6日（土）～7日（日）「第2回野外教育施設ボランティア養成講座」
- ・ 1月18日（土）～19日（日）「第3回野外教育施設ボランティア養成講座」

◇この他に、ZAVOが自主的にプログラムを組み、研修を行います。

☆参加者の声

- ・アシスタントの皆さんも一緒に楽しんでくれたので、120%以上で楽しめました！！
 - ・荷物を持っていただいたり、親切にしてくださいました。キャンプファイヤーのレクも楽しかったです。みなさん誠実な印象で、将来は先生が似合いそうです。
 - ・アシスタントの皆さんも楽しんでやっていたので、子供も皆さんのようになったらいいなと思って見ていました。良いお手本になってくれてありがとうございます。
 - ・日常で味わえない体験をして、アシスタントさんの対応も良く、いろいろな家族の方ともコミュニケーションを取れて楽しかったです。
 - ・アシスタントの学生さんのおかげで安全に楽しく過ごすことができました。朝から晩まで大変だったことと存じます。本当にお世話になりました。
 - ・食事の片付けや配膳などにもアシスタントの方が手を貸してくれて大変助かりました。
 - ・アシスタントさん、楽しいイベントを企画・実行してくださりありがとうございます。社会人になっても、皆を笑顔にする一人一人でいてもらいたいと思います。
 - ・アシスタントの姿を見て、将来子どもたちにも経験させてみたいと思いました。
 - ・大学生のお兄さんお姉さんと遊ぶことができ、とても楽しかったです。またお兄さんお姉さんと一緒に活動したいです。
 - ・アシスタントの方々が優しく、子どもたちがべったりでした。大変お世話になりました。
- 参加者からは、心強く、頼りになり、憧れの存在として認めていただいています。

☆アシスタントの声

- ・子どもだけでなく、保護者の方ともコミュニケーションを取ることができたので良かった。
 - ・初めて参加したが、他の大学の人たちとコミュニケーションを取れる場となって、とても良かった。
 - ・アシスタントを経験して、子どもと関わる楽しさやアシスタント同士の関わり方、コミュニケーションの取り方など、学ぶことがたくさんあった。今後も継続したいと感じた。
 - ・子どもの目線に立って活動できたことがよかった。結果として、子どもに懐かれることもあり、非常に楽しく活動できた。
 - ・アシスタント2年目として、昨年度よりは視野の広さや参加者への対応など、成長するように心掛けていたが、参加者に甘くなってしまう、正しい支援を怠ってしまうことがあった。
 - ・事業によっては、アシスタントが主体的に担当するコーナーが設けられていることがあり、ただ参加者の支援に回るだけではなく、自分たちで遊びなどを考えるのも、また勉強になったと感じた。
 - ・自分の中で満足のできた支援は無く、後々から、もっとこうした方がよかったのではないかという思いがたくさん湧いてきた。子どもたちと接していると夢中になってしまい、本来の目的を忘れてしまう場面があったので、冷静さも兼ね合わせたい。
 - ・活動内容は、野ボラ（*野外教育施設ボランティア養成講座の略）で事前に一度予習しておけるので、子どもたちと活動するときに、どこが危険なのかやどのタイミングでアシスタントが入るべきなのかを知ることができたため、子どもたちに自力でやらせつつ、必要なところは支援するということができた。
- 参加者との関わりを楽しみながら様々なことを学び、さらに高めようとしています。

◎興味を持っていただいた方は、
「蔵王自然の家学生ボランティア担当」へ
お気軽にご連絡ください。
電話番号：0224-34-2101
E-mail：zoseinnk@pref.miyagi.lg.jp